

笑いヨガをリードするかやしまさん



マジシャンのかやしまさん慰問 笑いヨガを初披露

ガン患者のサロンひとやすみで

4土曜午前10時から正午まで、開かれている。患者や家族、遺族、がんではない人も参加でき、無料。ふだんは10人ほどが参加し、思い思いにおしゃべりをしたり、後半は今回のようにマツタケを染したり、生演奏を聞いたり、絵を描いたりしている。

小野朱美代表理事は「当事者同士で話すことで視野が開けたり、医師に聞きにくい経済的なことをおしゃべりしながらの情報交換ができる。新しい方にもぜひ来てほしい」と呼びかけている。

マジシャンのかやしま天峯さん(72)は市内竹の内、県看護認定士などの達人が23日、がん患者が集う「ひとやすみコミュニケーションサロン」(南立石生目町1組2、電話077-333)にボランティヤ出演した。インストラクターに認定されたばかりの笑いヨガも初披露。千円札を1万円札に変えたり、ハンカチをハンクに変えるな

どのマジックで喜ばせ、続けて参加者2緒に手を叩いたり腕を突き上げたりしながら「イエー」「ヤッター」と声を出し、会場が盛り上がった。参加者は「笑って酸欠になりそうだった」「ハンクになったのが面白かった」と笑顔を見せていた。

かやしまさんは大分市と目田町を管轄しているがん患者のサロン3カ所を、2カ月に1度のペースで慰問しており、「笑って楽しんでほしい」と話している。

「ひとやすみ」は毎月1と3の両日、一般社団法人湯のまちが開設している「湯のまち訪問看護ステーション」で毎月第